

常警毎日新聞

二月十六日 夕刊

天候 晴
今日は東北の風
明日は東の風雨

健康児であるかどうかを
調査すると
調査すると

夏井養實組合
渡邊氏に
悪運轉手
子供に衝突

郡下小學校長
平第一校で協議
統後美談集編纂其他

平市就學兒童數
合計七百五十名
三月廿五日に身体検査

鳥小屋の純益を
軍事後援會へ寄附
鐵工徒弟が本社へ寄託

高齡祖逝く
警署セメント會社特約店
釜屋商店

平市人事
死

白柄風連
大島多慶夫作
井川洗滌

朗からなる春の信號

梅一輪
一輪づつ
朝の空

寒さは坂を越えたい

物みな春への行進
平年よりも二、三度温い
梅咲く會話が街に氾濫

防空訓練

協議會
松ヶ岡公園の櫻

竹原司令官を

圍んで座談會
國体の本義に關して

内容の充實した

市農會愈々活躍
先づ更生は副業から
椎茸栽培奨励に乘出す

壯丁トラホーム

檢診好成绩
罹病は八名輕トラ

耐寒行軍

平第二校
平市就學兒童數
合計七百五十名

鳥小屋の純益を

軍事後援會へ寄附
鐵工徒弟が本社へ寄託

高齡祖逝く

警署セメント會社特約店
釜屋商店

平市人事

死

麗はしの母校愛

今年度の平商卒業生が
大テント一張を贈る

金一封を贈り

遺家族慰問
平市の應召家族慰問日

前科が祟つて

再び惡の途へ
濱通り學校荒し

雪の樺太越えに

驚きの追憶
炭礦踏査の杉本良吉氏

竹原司令官を

圍んで座談會
國体の本義に關して

内容の充實した

市農會愈々活躍
先づ更生は副業から
椎茸栽培奨励に乘出す

壯丁トラホーム

檢診好成绩
罹病は八名輕トラ

耐寒行軍

平第二校
平市就學兒童數
合計七百五十名

鳥小屋の純益を

軍事後援會へ寄附
鐵工徒弟が本社へ寄託

高齡祖逝く

警署セメント會社特約店
釜屋商店

平市人事

死

心強し補充兵

平第一校で査閲
執行官は竹原大佐

麗はしの母校愛

今年度の平商卒業生が
大テント一張を贈る

金一封を贈り

遺家族慰問
平市の應召家族慰問日

前科が祟つて

再び惡の途へ
濱通り學校荒し

雪の樺太越えに

驚きの追憶
炭礦踏査の杉本良吉氏

竹原司令官を

圍んで座談會
國体の本義に關して

内容の充實した

市農會愈々活躍
先づ更生は副業から
椎茸栽培奨励に乘出す

壯丁トラホーム

檢診好成绩
罹病は八名輕トラ

耐寒行軍

平第二校
平市就學兒童數
合計七百五十名

鳥小屋の純益を

軍事後援會へ寄附
鐵工徒弟が本社へ寄託

高齡祖逝く

警署セメント會社特約店
釜屋商店

平市人事

死

心強し補充兵

平第一校で査閲
執行官は竹原大佐

麗はしの母校愛

今年度の平商卒業生が
大テント一張を贈る

金一封を贈り

遺家族慰問
平市の應召家族慰問日

前科が祟つて

再び惡の途へ
濱通り學校荒し

雪の樺太越えに

驚きの追憶
炭礦踏査の杉本良吉氏

竹原司令官を

圍んで座談會
國体の本義に關して

内容の充實した

市農會愈々活躍
先づ更生は副業から
椎茸栽培奨励に乘出す

壯丁トラホーム

檢診好成绩
罹病は八名輕トラ

耐寒行軍

平第二校
平市就學兒童數
合計七百五十名

鳥小屋の純益を

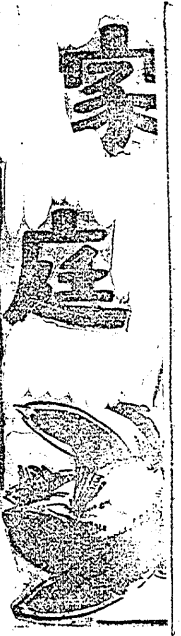
軍事後援會へ寄附
鐵工徒弟が本社へ寄託

高齡祖逝く

警署セメント會社特約店
釜屋商店

平市人事

死



婦人愛煙家

山室民子
又愛ニコラス
夫愛ニコラスは、...

父兄の注意
中等學校への
入學に就いて
何んとかならうなど
では不可ません

小學校から高等學校へ入學する
父兄は、...

六年生の親たちへ
小さな紳士淑女
佐々木秀一氏談

東西物の始まり集
ニユーエス
只今から
三ノエ
を申上げ
ます

貯金通帳の番號を
記憶してゐて下さい
支那點描
支那婦人の
政治的關心

支那婦人の政治的關心
支那の婦人は、...

愛慾非常線
寺崎洋々洲作
松村秀彦書



支那婦人の政治的關心 (continued text)

かまぼく
製造
お徳栄
平市一丁目 電話一四一四番

井坂醫院
花柳病科
婦人科
平市町 電話五九九番

シモヤケ家傳藥
東市丸井邦賢堂
茨城 兩縣特約販賣 伊藤石炭店

病室増築 手術室完備
婦人科 醫學博士
平市新川町 電話三六九番

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野憲次
醫學士 西川誠

冬物は是非!
平市洋行
平市町 電話五六一六番

クレオソート
精製コールドール
壹圓貳拾錢
平市仲町通り 山田文一商店

近視老眼亂視眼用
是非!!! 一度御来店
玉屋メガネ店

胃腸病に一大黎明
胃腸
市平
町田

北川外科
内臓外科 泌尿器科
平市新川町二七(電話四六四番)

御會葬御禮
渡邊權次郎
外親戚一同